

平成 29 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「女性暴力問題解決のための相談・教育・指導拠点設置計画」引渡式

4月2日（火）、岩藤大使は、ムレワ郡において、平成 29 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「女性暴力問題解決のための相談・教育・指導拠点設置計画」（シェルターや教育棟建設、家具整備のための資金提供）により完成した施設の引渡式に出席しました。

同プロジェクトは、シェルター、教育棟、カウンセリング棟、トイレ棟及びフェンスを建設し、ベッド、ロッカー、机・椅子等を整備するもので、同地域で活動しているローカルNGO「ロザリアメモリアル協会」により実施されました。

同プロジェクトが完成する以前は、活動場所の慢性的な不足により、十分なカウンセリングができず、また暴力を受けた女性達のプライバシーが確保できない状況が多々ありました。さらには、同団体には保護施設もなかったため、緊急保護を必要とする女性へのケアに支障をきたしていました。

岩藤大使は、ジンバブエでは家庭内外における少女・女性への暴力が横行しているとして、これらをなくすためには、我々が立ち上がり、間違った認識を改めなければならないと述べました。また、ムレワのコミュニティーの中心にあるこの施設が、ジェンダー平等における認識を広め、人々を教育するために最善を尽くすこと、そしてこの流れが東マシヨナランド州、ひいてはジンバブエ全土に波及していくことを期待しますと述べました。



スピーチをする岩藤大使



除幕式



日本旗を振る子どもたち



地域学校の生徒による国家斉唱



説明カードを掲げるボランティアの少女



ナンガを体験する出席者ら



シェルター



教育棟



ナンガ（若年女性のための集いの場）



伝統的ダンス（ジェルサレマ）